

耐震と断熱性能向上を十分に図りながら風土に合わせた味わいある改修は見事。地産木材を利用した材料の調和、庭を取り込んだ玄関周り、十分に計画された室内など、デザインと機能を調和させた新しい息吹を感じる建物となった。空き家バンク利用の成功例。

リフォーム前後の写真



①外壁は地産の焼杉板張り、屋根はいぶし瓦を施し、歴史的風土の調和を図った



②道路側は連続した縦格子を設けることで、防犯面と圧迫感を感じさせない塀となる



③北側の静かな庭を取り込む大きな開口



Before

A. 外観



B. 庭より



C. 板間



④玄関から連続した吹抜けが1つの開放的な空間をつくる



⑤新たな縁側が住まいのアプローチとなる



⑥新旧の材料が調和する広間とキッチン



⑦薪ストーブで間伐材利用



⑧既存の建具を再利用し雰囲気を継承する

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

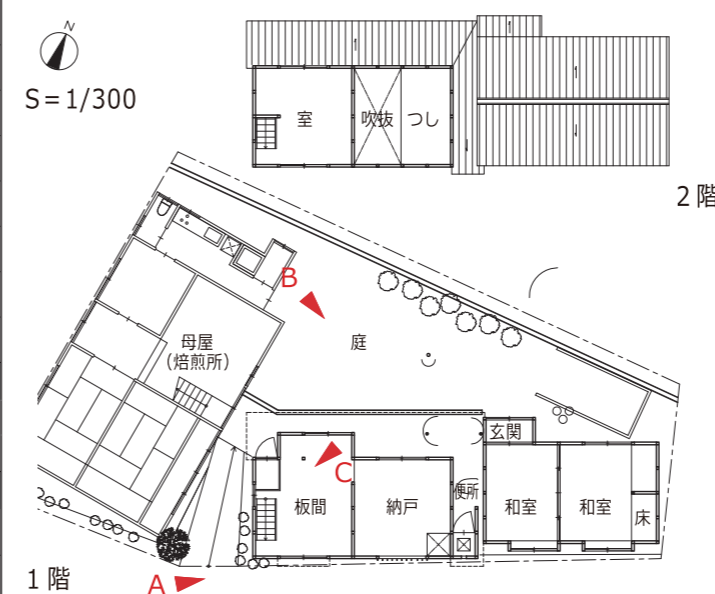
明日香村の歴史的風土の中で仕事と生活をしたいと空き家バンクを利用し購入された家。敷地に母屋、納屋、平屋と3棟あり納屋と平屋を住まいに改修したいと考えられた。現状は屋根、外壁、基礎共に劣化があり、耐力壁も不足しており断熱材も無かった。まずは全てスケルトンにし、基礎を抱合せ補強、耐力壁の追加、建物そのものの歪みを補修した。また、天井、壁、床に断熱材を充填し、建物の安全性と機能性を確保した。

計画は、仕事場で来客のある母屋と新たに生活する棟が敷地内にあることに着目した。母屋近くの場所は庭と一体に利用ができる開放的な広間を設け、奥に行くにしたがいプライベートな空間になることで生活の区域をゆるやかに別けた。また、外壁などの木材は地産を使用し、いぶし瓦を葺くことで明日香村の条例を守ると共に歴史的風土の調和を図った。地域の特性と既存建物の状況を読み取ることで、その時々増築されてきた建物に新たな利用方法を提案できた。

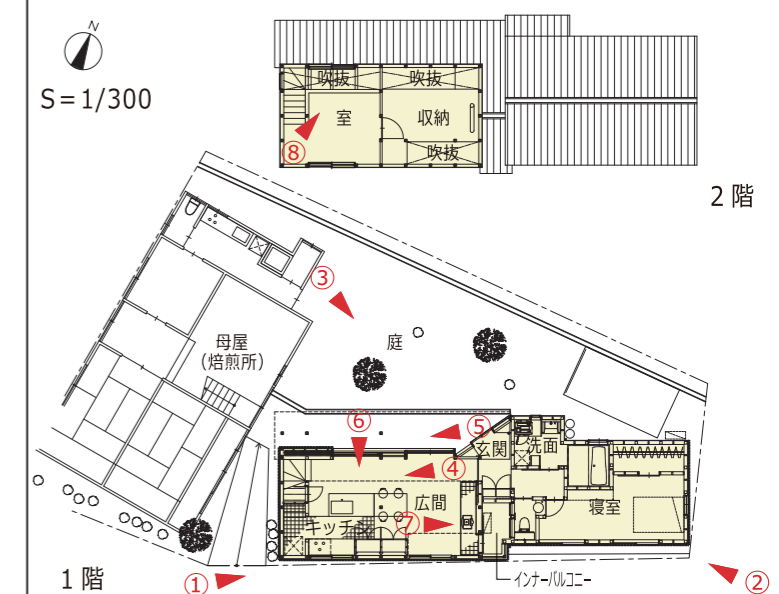
性能向上の特性	特に配慮した事項	lw 値、ls 値
温熱性能、耐久性能、耐震性能、室内空気環境	断熱材を充填、薪ストーブの設置、開口部を全て新設し温熱環境に配慮した。基礎補強、耐力壁の設置により耐震性能を確保した。	リフォーム前 不明 リフォーム後 1.01

データ	
所在地	奈良県高市郡明日香村
新築竣工年	1954年
築後年数	70年
施工期間	210日間
該当工事床面積	78.74㎡ / 総工事床面積 78.74㎡
該当部分工事費	2,950万円 / 総工事費 2,950万円
居住者構成	65歳以上: 人 / 40~64歳: 1人 / 15~39歳: 1人 / 14歳以下: 人 / ペット 匹

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位: ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ ■インテリア/ □マンション共用部分/ □その他